

事前評価個表

整理番号	14
------	----

地域（地区）名	紀北	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	和歌山県	対象市町村	和歌山市ほか8市町
事業実施期間	H29～H33（5年間）	事業実施主体	市町、森林組合、森林所有者等

事業の概要・目的	<p>本地区は、和歌山県の北部に位置している。</p> <p>本地区の総面積116千haのうち、森林面積は66千ha（森林率57%）、対象民有林は62千ha（森林全体の94%）、うちスギ、ヒノキを主体とする人工林は36千ha（人工林率58%）となっており、和歌山県の人工林率61%を下回る状況となっている。</p> <p>人工林の齢級構成は、ⅩⅡ齢級をピークとした偏った構成になっており、人工林の成熟化が進んでいる。一方、間伐対象森林（Ⅲ～ⅩⅡ齢級）は全体の68%を占め、また、手入れが放棄された森林があるため、保育間伐等森林整備を適切に行うとともに、伐採後の再造林を促進し、健全な森林を造成・育成していく必要がある。</p> <p>森林整備に当たっては、本県で作成している「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、路網整備を推進し、素材生産販売量の増産を目指している。</p> <p>また、作業道等の路網整備と併せて森林施業の集約化を行い、低コスト林業を推進することにより、間伐材の生産販売量の増産を目指すとともに、適切な森林整備を進めることにより、森林の持つ多面的機能の維持増進を図る。</p> <p>このため、本事業では、効率的な施業に不可欠な森林作業道の整備と搬出間伐や再造林等の森林整備を一體的・計画的に実施する。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：2,280ha 人工造林、下刈り、枝打ち、除伐、間伐等</p> <p>総事業費：1,116,260千円</p>
費用対効果分析結果	<p>B/C = 5.49 (総便益(B) = 13,318,300千円、総費用(C) = 2,425,897千円)</p>
評価結果	<p>必要性：森林の公益的機能の発揮及び県産材の安定的供給を図るため、事業の実施が必要である。</p> <p>効率性：費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。</p> <p>有効性：森林の有する多面的機能の高度発揮や、搬出間伐による木材生産量の増加が図られ有効である。</p>

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名: 森林環境保全整備事業

都道府県名: 和歌山県

地域(地区)名: 紀北^{きほく}

(単位: 千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源涵養 ^{かん} 便益	洪水防止便益	3,024,228	
	流域貯水便益	892,855	
	水質浄化便益	2,780,753	
山地保全便益	土砂流出防止便益	3,553,087	
環境保全便益	炭素固定便益	2,233,813	
木材生産等便益	木材生産確保・増進便益	833,564	
総 便 益 (B)		13,318,300	
総 費 用 (C)		2,425,897	
費用便益比	$B \div C = \frac{13,318,300}{2,425,897} = 5.49$		

森林環境保全整備事業計画

(紀北地域計画対象地域図)

